

2023年3月14日(火) 小集会

	8201教室 A会場	8202教室 B会場	8203教室 C会場	8204教室 D会場	8205教室 E会場	8301教室 F会場	8302教室 G会場	8303教室 H会場	8304教室 I会場	
16:00	小集会W01 「生物振動学」 (バイオレモ ロジー)の世界: 害虫防除 および栽培へ の応用	小集会W02 NGSデータ解 析をやってみ よう	小集会W03 NBPRカイク における次世 代シーケ ンスデー タの整備 と活用	小集会W04 第3回 社会 性昆虫研 究会:あり ん“こ”に 秘められ た不思議	小集会W05 第2回 昆 虫食マン ダラ	小集会W06 第31回日 本IC IPE協 会研 究報 告会— ア フリ カ昆 虫学 のタ ベ	小集会W07 久野英二 先生追 悼集 会:昆 虫生 態学 100 年、 迎 り 来 し 迎 り 行 く 道	小集会W08 “おも ろい” こ そ が 研 究 の 原 点: 平 成 の “ 蟻 匠” 山 岡 亮 平 を 語 る 会	小集会W09 縁 尋 機 妙 ・ 昆 虫 生 態 学 の 牽 引 者 か ら 学 ぶ (2) 辻 和 希 さ ん と 愉 快 な 仲 間 達	16:00
17:30	W01-01 ○大 江 高 穂 ¹ (1. 宮 城 農 園 研) 振 動 を 使 っ た ト マ ト の 害 虫 防 除 ・ 受 粉 促 進 技 術 の 実 用 化 に 向 け て— 宮 城 県 で の 研 究 開 発 事 例—	W02-01 ○横 井 翔 ¹ (1. 農 業 食 品 産 業 技 術 総 合 研 究 機 構 生 物 機 能 利 用 研 究 部 門) は じ め に (NGS デー タ 解 析 を や っ て み よ う)	W03-01 ○佐 藤 昌 直 ¹ (1. 北 海 道 大 学 大 学 院 農 学 研 究 院) カ イ コ ゲ ノ ム 配 列 解 析 の 現 状 と 展 望	W04-01 ○増 子 恵 ¹ (1. 専 修 大 学 経 営 学 部) ア リ 幼 虫 の 雑 話 3題	W05-01 ○井 内 良 仁 ¹ (1. 山 口 大 院 ・ 創 成 科 学) 食 糧 危 機 に 関 係 な く 今 す ぐ に で も 虫 を 食 べ る べ き 理 由	W06-01 ○砂 村 栄 力 ¹ ・ Mothapo Natasha ² (1. 森 林 総 合 研 究 所 ・ 2. ス テ レ ン ボ ッ シ ュ 大 学) 南 ア フリ カ に お け る 外 来 ア リ の 調 査 研 究 活 動 事 例	W07-01 ○松 浦 健 二 ¹ (1. 京 大 院 ・ 農 ・ 昆 虫 生 態 学) 我 々 は 何 を 問 う て き た の か: 京 大 昆 虫 研 100 年 史 と 現 在	W08-01 ○若 村 定 男 ¹ (1. 京 都 先 端 科 学 大 学 バ イ オ 環 境 学 部) フェ ロ モ ン 同 定 の バ イ オ ニ ア 山 岡 さ ん の エ レ ガ ン ト な ス キ ル	W09-01 ○金 子 修 治 ¹ ・ 鈴 木 紀 之 ² ・ 安 田 弘 法 ³ (1. 大 阪 環 農 水 研 ・ 2. 高 知 大 ・ 3. 放 送 大) 縁 尋 機 妙 ・ 昆 虫 生 態 学 の 牽 引 者 か ら 学 ぶ (2) 辻 和 希 さ ん と 愉 快 な 仲 間 達	17:30
	W01-02 ○小 林 知 里 ^{1,2} ・ 向 井 裕 美 ¹ ・ 高 梨 琢 磨 ¹ (1. 森 林 総 研 ・ 2. 東 北 大 学) ふ る え る キノ コ 栽 培 — 振 動 を 用 い た 害 虫 防 除 と 子 実 体 発 生 促 進 へ 向 け て—	W02-02 ○梶 浩 平 ¹ ・ 坊 農 秀 雅 ¹ (1. 広 島 大 学 統 合 生 命 RNA シ ー ケ ン ス デー タ の メ タ 解 析)	W03-02 ○李 允 求 ¹ ・ 嶋 田 透 ¹ (1. 学 習 院 大 学) カ イ コ ガ 上 科 4 種 の 染 色 体 レ ベル ゲ ノ ム ア セ ン プ リ の 構 築	W04-02 ○後 藤 彩 子 ¹ ・ 島 本 侑 奈 ¹ ・ 桂 衣 里 奈 ¹ ・ 伊 藤 文 紀 ¹ ・ 藤 岡 桃 加 ¹ (1. 甲 南 大 学 ・ 2. 香 川 大 学) ア リ 類 に お け る 繭 形 態 の 多 様 性	W05-02 ○葦 苅 辰 矢 ¹ (1. 株 式 会 社 エ コ ロ ギ ー) 昆 虫 食 の 日 本 ・ ア ジ ア に お け る 社 会 実 装 に 向 け た 取 り 組 み	W06-02 ○皆 川 昇 ¹ (1. 長 崎 大 学 熱 帯 医 学 研 究 所) ア フリ カ に お け る マ ラ リ ア の 現 状 と 対 策	W07-02 ○藤 崎 憲 治 ¹ (1. 京 都 大 学 名 譽 教 授) 久 野 先 生 の 研 究 業 績 を 振 り 返 っ て	W08-02 ○西 田 律 夫 ¹ (1. 京 都 市) 山 岡 亮 平 先 輩 の 想 い 出 〜 ア リ の 目 線 で!	W09-02 ○辻 和 希 ¹ (1. 琉 球 大 学 ・ 農 学 部) 論 文 業 績 主 義 の 功 罪	
	W01-03 ○平 栗 健 史 ¹ ・ 清 水 博 幸 ¹ ・ 伊 藤 暢 彦 ¹ ・ 大 矢 武 志 ² ・ 高 梨 琢 磨 ³ (1. 日 本 工 業 大 学 ・ 2. 神 奈 川 県 農 業 技 術 試 験 セ ン ター ・ 3. 森 林 総 合 研 究 所 ・ 東 北 支 所) ハ チ に 代 わ る 小 型 ド ロ ー ン を 用 い た 受 粉 技 術	W02-03 ○宇 賀 神 篤 ¹ (1. JT 生 命 誌 研 究 館) Figure 1の た め の デー タ 解 析: チ ョウ の 味 覚 関 連 遺 伝 子 の 機 能 解 析 の た め に	W03-03 ○藤 井 告 ¹ ・ 山 本 和 典 ¹ ・ 田 村 圭 ¹ ・ 西 川 和 弘 ¹ ・ 伴 野 豊 ¹ (1. 九 州 大 学 大 学 院 農 学 研 究 院) 次 世 代 シ ー ケ ン ス 解 析 に よ る カ イ コ 変 異 体 の 原 因 遺 伝 子 の 迅 速 同 定	W04-03 ○井 戸 川 直 人 ¹ ・ 後 藤 彩 子 ² ・ 土 畑 重 人 ³ (1. 東 京 都 立 大 学 ・ 理 学 部 ・ 2. 甲 南 大 学 ・ 理 工 学 部 ・ 3. 東 京 大 学 大 学 院 ・ 総 合 文 化 研 究 科) “子” の 顔 が 見 て み た い :ア リ 幼 虫 の 形 態 と 機 能 の 多 様 性	W05-03 ○竹 田 真 木生 ¹ (1. ム シ の 恵 み 社) コ オ ロ ギ 工 場 の 新 し い 育 種 目 標 (1) 発 育 速 度 と サ イ ズ	W06-03 ○五 野 日 路子 ¹ (1. 東 京 農 業 大 学 国 際 食 料 情 報 学 部) マ ラ ウ イ 農 民 の 農 業 害 虫 へ の 意 識 と 農 業 生 産	W07-03 ○西 田 隆 義 久 野 生 態 学 が 目 指 し た も の: 歴 史 的 バ ー ス ベ ク テ ィ ヴ	W08-03 ○乾 陽 子 ¹ (1. 大 阪 教 育 大 学 教 育 協 働 学 科 自 然 科 学 コ ー ス) 昆 虫 化 生 態 学 へ の 貢 献 ・ メン ター と し て の 貢 献 を 偲 ぶ	W09-03 ○下 地 博 之 ¹ (1. 関 西 学 院 大 学) 越 え ら れ な い 壁 と の 向 き 合 い 方	
		W03-04 ○岩 下 真 子 ¹ ・ 藤 井 告 ¹ ・ 伴 野 豊 ¹ (1. 九 州 大 学 大 学 院 農 学 研 究 院) ゲ ノ ム 情 報 整 備 で 活 用 が 期 待 さ れ る カ イ コ と ク ワ コ と の コ ン ソ ミ ック 系 統 の 紹 介					W07-04 ○本 間 淳 ^{1,2,3} (1. 琉 球 産 経 株 式 会 社 ・ 2. 沖 縄 病 害 虫 防 技 セ ・ 3. 琉 球 大 学 ・ 農 学 部) 直 接 薫 陶 を 受 け ら れ な か っ た 世 代 か ら 見 た 久 野 先 生	W08-04 ○北 條 賢 ¹ (1. 関 西 学 院 大 学) 真 の 化 生 態 学 を 求 め て	W09-04 ○林 亮 太 ¹ (1. 日 本 工 業 株 式 会 社) 昆 虫 研 究: カ メ フ ジ ツ ボ 研 究 の 起 原	
							W08-05 ○青 沼 仁 志 ¹ (1. 神 戸 大 学 ・ 大 学 院 理 学 研 究 科) 昆 虫 の 攻 撃 行 動 を 調 節 す る 脳 内 生 体 ア ミ ン			

2023年3月15日(水) 小集会

	8201教室 A会場	8202教室 B会場	8203教室 C会場	8204教室 D会場	8205教室 E会場	
15:00	小集会W10 ゲノムデータ解析とゲノム編集を利用し有用な昆虫をつくる(昆虫BioDX)	小集会W11 虫と共に生きる菌類の多様性と進化	小集会W12 応用昆虫学の新しいチャレンジ: 腐食性昆虫を使った資源循環	小集会W13 ウンカシヘンチュウ小集会	小集会W14 イネカメムシを巡る最新情勢	15:00
16:30	W10-01 ○奥原 啓輔 ^{1,2} (1. 広島大学・ゲノム編集イノベーションセンター、2. プラチナバイオ(株)) ゲノム編集とバイオDXでミライを拓く Pioneering Future with Genome Editing and Bio-DX	W11-01 ○佐藤 大樹 ¹ (1. 森林総合研究所) 国内の昆虫病原菌研究について	W12-01 ○藤谷 泰裕 ¹ (1. 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所) 昆虫の特性を活用した食品・飼料利用の展望	W13-01 ○吉田 睦浩 ¹ (1. 農研機構植防研) ウンカシヘンチュウ個体および個体群に対する農薬の影響について	W14-01 ○八塚 拓 ¹ ・平江 雅宏 ² ・萱部 彰 ¹ ・小林 則夫 ¹ (1. 茨城農総セ農研、2. 農研機構・植防研) イネカメムシの発育パラメータと要防除水準	16:30
	W10-02 ○坊農 秀雅 ¹ (1. 広島大学・統合生命科学研究所) バイオDX産学共創拠点におけるデータ解析基盤技術開発	W11-02 ○石神 広太 ^{1,2} (1. 北海道大・農学院、2. 産総研・北海道センター) 真菌が搾取されている共生細菌を救う!? 昆虫-バクテリア共生系における真菌が与える影響	W12-02 ○三浦 猛 ¹ ・井戸 篤史 ¹ ・三浦 智恵美 ² (1. 愛媛大学農学研究所、2. 広島工業大学環境学部) 昆虫の水産養殖への利用・飼料原料としての利用と機能性の利用	W13-02 ○井上 栄明 ¹ (1. 鹿児島市在住) 鹿児島県における水田農薬環境と土着天敵ウンカシヘンチュウほかとの共存	W14-02 ○田中 千晴 ¹ ・佐々木 彩乃 ¹ ・西野 実 ¹ (1. 三重県農業研究所) イネカメムシの加害時期とイネの不稔症状、水田での発生消長と卵巣の発達状況	
	W10-03 ○畠山 正統 ¹ ・木村 澄 ² (1. 農研機構・生物機能部門、2. プラチナバイオ) ゲノム編集によるセイヨウミツバチの改良 - 優良系統の育種をめざして -	W11-03 ○土岐 和多瑠 ¹ (1. 名古屋大院・生命農学) 材依存性甲虫の共生器官で運搬される酵母の多様性	W12-03 ○Shih Cheng-Jen ¹ ・Lee Yong-Yueh ² (1. National Taiwan Univ., 2. Stonbo Creative Co.) Design and Development of Automated Rearing System for Black Soldier Fly (<i>Hermetia illucens</i>)	W13-03 ○日鷹 一雅 ¹ (1. 愛媛大学大学院農学研究科) ウンカシヘンチュウが生息する水田環境の過去と現在: 農薬類に関連させて	W14-03 ○住田 歩夢 ¹ ・竹松 葉子 ² (1. 鳥取大学大学院連合農学研究科、2. 山口大学創成科学研究科) イネカメムシの季節消長と卵寄生蜂	
	W10-04 ○横井 翔 ¹ (1. 農研機構 生物機能利用研究部門) 公共データベースを利用したメタ解析によるセイヨウミツバチの参照トランスクリプトームデータの構築	W11-04 ○松浦 優 ¹ (1. 琉大・熱生研) 昆虫寄生菌のセミタケ類が絶対共生菌へと進化した要因を探る				
	W10-05 ○増岡 裕大 ¹ (1. 農研機構・生物機能) 新規共発現ネットワーク解析ツールを用いたカイコのシルク遺伝子制御因子の探索					
	W10-06 ○田部 井 豊 ¹ (1. 東洋大学食環境科学部) ゲノム編集生物の規制について					